

宇和島市民ミュージカル 「約束」

4/3

4月3日(日)、第5回 宇和島市民ミュージカル「約束」が南予文化会館で上演されました。平成27年4月にオーディションを行い、5月から練習を開始した役者の皆さんは、約900人の来場者の前で今までの練習の成果を披露しました。

今回上演された「約束」は、県南予地方の伝説、歴史、実話を素材としている宮本 春樹 さんの著作「はまゆう年代記」を原作とした作品です。昭和初期の宇和海の貧しい漁村「芋背」に暮らす、幼い男女の成長と、戦争に進んでいく時代に翻弄される2人の運命を描いています。

役者の皆さんは、時にはユーモラスな、時には優しく厳かな歌と演技を舞台上で熱演していました。



和霊公園 大宮 庫吉銅像の 修復作業が完了しました

3/12

昭和36年10月に和霊公園に設置された「大宮 庫吉銅像」は、長年風雨にさらされたことにより、汚れや損傷が激しくなっていました。そこで、平成27年11月から、宝ホールディングス株式会社により修復作業が行われていましたが、3月12日(土)に作業が完了し、ふたたび和霊公園に設置されました。

大宮 庫吉は明治から昭和にかけて活躍した宇和島出身の実業家で、「日の本焼酎」という甲類焼酎の商品化に成功し、後の「宝酒造」では社長・会長を務めました。

大宮 庫吉は故郷宇和島への思いがとて強く、宇和島公会堂などの建設時には多額の寄付を行いました。公会堂は「大宮ホール」と呼ばれ親しまれていました。



九島～宇和島航路 廃止記念式典 ありがとう「第八くしま」そして、長い間お疲れ様

4/4

4月4日(月)、九島大橋の開通により、長い間住民の移動手段として利用されてきた九島～宇和島航路が廃止されることにもない、「九島～宇和島航路 廃止記念式典」が百之浦港で行われました。



九島～宇和島航路は昭和24年 盛運汽船株式会社により運航が開始され、昭和27年1月からは、九島農業協同組合が運航を行いました。その後、農業協同組合組織の統合により、平成10年11月より現在の運航会社、株式会社えひめ南汽船が運航を行いました。航路で使用されていたフェリー「第八くしま」は、運航が開始された船から10代目の船となります。

式典には多くの住民が参加し、「第八くしま」との別れを惜しみました。式典中、九島小学校児童によるお別れのことばが披露され、「私たちを遠足に連れて行ってくれた」「いつも市内まで連れて行ってくれた」など、感謝のことばを述べました。

多くの人が見守る中、出航のドラの音と共に「第八くしま」が静かに港を離れると、長く汽笛を鳴らして別れの挨拶をしました。参加者は皆、船の姿が見えなくなるまで、手を振っていました。